

## 「第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」 開幕迫る！

JEED（高齢・障害・求職者雇用支援機構）は「第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」（後援：厚生労働省など、以下「第42回大会」といいます。）を、令和4年11月4日（金）から6日（日）までの3日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）において、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上で開催します。

障害者雇用をお考えの方をはじめ、どなたでもご来場いただけます！（入場無料）  
また、競技風景をWeb上で動画配信いたしますので、こちらもぜひご覧ください。  
（※なお、本大会は、第60回技能五輪全国大会（主催：厚生労働省等）と同時開催、同一会場での開催となります。）



【大会日程】（※来場は5日（土）及び6日（日）が対象です。 Webは4日（金）～6日（日）全て配信。）

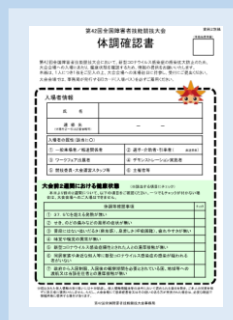
- ・ 11月4日（金） 14：00～14：30 **開会式** ※ Web 配信のみ
- ・ 同 5日（土） 9：00～17：30 **競技実施**  
（競技ごとに実施・配信スケジュールは異なります。）  
9：00～17：00 **障害者ワークフェア**
- ・ 同 6日（日） 9：00～10：30 **閉会式（成績発表）**

アビリンピック専用Webサイト  
「Abilympics.jp」  
(<https://Abilympics.jp>)



【来場方法】 ※ 詳細については、資料4をご確認ください。

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入場される皆様は、大会当日の受付時に「**体調確認書**」のご提出をお願いします（当日は、資料4の「**体調確認書**」をダウンロードのうえ記入したものをご持参いただくことも可能です。「来場に当たっての注意事項」「来場受付の流れ」も含まれています。）。
- ・ 大会開催2週間前から当日までの間に37.5度を超える発熱があった方、及び同確認書のすべての項目にチェックがつかない方は、当日のご来場をお控えください。
- ・ 同確認書の提出がない場合及び体調不良がある場合は会場への入場をお断りさせていただきます。



体調確認書



※上記の写真は第40回大会の様子です。

【第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の概要】

第42回大会では、47都道府県から368名（9月30日時点）の選手が、「ビルクリーニング」「ワード・プロセッサ」「喫茶サービス」など全25種目の技能競技に参加して、日頃培った技能を披露し、競い合います。また、技能競技のほか、障害のある方々の新たな職域等を紹介する種目として、「物流ワーク」「OA 機器等メンテナンス」をデモンストレーションとして実施します。



※上記の写真は第39回大会の様子です。

## ※アビリンピック競技の様様



※上記の写真は第39回大会の様子です。

### 【障害者ワークフェア2022の概要】

アビリンピックの一環として「**障害者ワークフェア2022～働く障害者を応援する仲間の集い～**」を**11月5日(土)**にアビリンピックと**同会場で開催**します。

障害者ワークフェアは、障害のある方の雇用と能力開発に関する理解と認識を深め、雇用促進を図ることを目的に開催しており、本年は**92企業・団体（職業能力開発施設、就労支援団体、特別支援学校、障害者雇用企業及び福祉施設等）**が、障害のある方の雇用に関する取り組みや、就労支援機器などについて、展示及び実演等を実施します。



※上記の写真はワークフェア2019の様子です。

## 注：アビリンピックとは

- ◆ この大会は、障害のある人々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方の能力について理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的として開催しており、昭和47年から原則として国際大会開催年度を除き毎年度開催されています。
- ◆ 「アビリンピック (ABILYMPICS)」とは、全国障害者技能競技大会の愛称で、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)をあわせた造語です。

- 別添資料
- ・資料1…「第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」概要
  - ・資料2…「障害者ワークフェア2022～働く障害者を応援する仲間の集い～」概要
  - ・資料3…「第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」競技スケジュール
  - ・資料4…「第42回全国障害者技能競技大会における新型コロナウイルス感染拡大防止のための具体的な措置」
  - ・資料5…「取材者の皆様へ（お願い）」

お問合せ：雇用開発推進部雇用推進課

（担当：横山／倉澤／沢田）

TEL:043-297-9516 FAX:043-297-9547

## 第 4 2 回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）開催概要

1 趣 旨

障害者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図るため、第 4 2 回全国障害者技能競技大会（アビリンピック、以下「第 4 2 回大会」という。）を開催する。

2 主 催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

3 日 程

令和 4 年 1 1 月 4 日（金）～ 6 日（日）

1 1 月 4 日（金）	オリエンテーション(9:30～12:00)、開会式(14:00～14:30)
1 1 月 5 日（土）	技能競技、技能デモンストレーション、障害者ワークフェア
1 1 月 6 日（日）	閉会式(9:00～10:30)、講評(10:30～12:00)

4 会 場

## (1) 開会式会場

Web 配信のみ実施

## (2) 技能競技、技能デモンストレーション、障害者ワークフェア会場

幕張メッセ（展示ホール 9～11）

## (3) 閉会式会場

幕張メッセ（展示ホール 9）

5 実施内容 ※（1）及び（2）の（ ）は参加人数

## (1) 技能競技（25 種目 368 人）

- ①洋裁(3)、②家具(1)、③DTP(13)、④機械CAD(6)、⑤建築CAD(5)
- ⑥電子機器組立(7)、⑦義肢(4)、⑧歯科技工(7)、⑨ワード・プロセッサ(37)
- ⑩データベース(7)、⑪ホームページ(8)、⑫フラワーアレンジメント(9)
- ⑬コンピュータプログラミング(1)、⑭ビルクリーニング(45)
- ⑮製品パッキング(21)、⑯喫茶サービス(45)、⑰オフィスアシスタント(37)
- ⑱表計算(35)、⑲ネイル施術(5)、⑳写真撮影(11)、㉑パソコン組立(7)
- ㉒パソコン操作(7)、㉓パソコンデータ入力(28)、㉔縫製(9)、㉕木工(10)

## (2) 技能デモンストレーション（2 種目 13 人）

- ①物流ワーク(4)、②OA機器等メンテナンス(9)

## (3) 併催イベント（障害者ワークフェア 2022～働く障害者を応援する仲間の集い～）の開催

- ①障害者雇用事業所による展示等
- ②障害者職業能力開発施設、特別支援学校、就労支援機関による展示等

## 「障害者ワークフェア 2022 ～働く障害者を応援する仲間の集い～」概要

### 1 趣 旨

第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の一環として、障害者の雇用に関わる展示、実演及び作業体験など総合的なイベントを開催することによって、事業主をはじめとする社会一般の障害者の雇用、能力開発に関する理解と認識をより深めることを目的として開催する。

### 2 主 催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

### 3 協 力

公益社団法人全国障害者雇用事業所協会

### 4 会場及び日程

(1) 会場：幕張メッセ 展示ホール11

(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

(2) 日程：令和4年11月5日（土） 9：00～17：00

### 5 内 容

障害者の雇用に関わる展示などを、「職場紹介エリア」「就労支援エリア」「能力開発エリア」の3つのエリアや特設コーナーなどにおいて行います。

その主な内容は、次のとおりです。

(1) 障害者雇用事業所等による展示・体験・実演・即売

(2) 障害者就労支援機器、生活福祉機器、福祉車両の展示・体験

(3) 障害者職業能力開発施設等の紹介・展示

(4) 就労支援機関、福祉施設、特別支援学校等による展示・体験・実演・販売

(5) 障害者雇用に関するパネル展示等

(6) 障害者雇用支援月間ポスター原画入賞作品展

(7) その他、障害者雇用啓発に関する企画等

### 6 出展予定者数

92企業・団体



## 「第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）」競技スケジュール

令和4年11月5日（土）

会場：幕張メッセ 展示ホール9・10

競技種目	競技時間	技能競技等スケジュール										
		8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	
洋裁	9:00～16:00	競技説明	競技 9:00～12:30				休憩 12:30～13:30	競技 13:30～16:00				
家具	9:00～16:00	競技説明	競技 9:00～12:00				休憩 12:00～13:00	競技 13:00～16:00				
DTP	9:00～12:30	競技説明	競技 9:00～12:30									
機械CAD	13:00～16:10					競技説明	競技 13:00～16:10					
建築CAD	9:00～12:30	競技説明	競技 9:00～12:30									
電子機器組立	9:00～14:30	競技説明	競技 9:00～12:00				休憩 12:00～13:00	競技 13:00～14:30				
義肢	10:30～16:15		競技説明	競技 10:30～12:30			休憩 12:30～13:30	競技 13:30～16:15				
歯科技工	9:00～15:00	競技説明	競技 9:00～12:00				休憩 12:00～13:00	競技 13:00～15:00				
ワード・プロセッサ	9:00～12:00	競技説明	競技 9:00～12:00									
データベース	9:00～12:00	競技説明	競技 9:00～12:00									
ホームページ	9:30～15:00	競技説明	競技 9:30～12:00				休憩 12:00～13:00	競技 13:00～15:00				
フラワーアレンジメント	13:30～17:00					競技説明	競技 13:30～17:00					
コンピュータプログラミング	9:30～16:30	競技説明	競技 9:30～12:30				休憩 12:30～13:30	競技 13:30～16:30				
ビルクリーニング	9:00～17:30	競技説明	競技 9:00～12:30				休憩 12:30～13:30	競技 13:30～17:30				
製品パッキング	9:50～13:45	競技説明	競技 9:50～10:50	休憩 10:50～12:30			競技 12:30～13:45					
喫茶サービス	9:00～16:00	競技説明	競技 9:00～11:30				休憩 11:30～12:30	競技 12:30～16:00				
オフィスアシスタント	10:00～12:00	競技説明	競技 10:00～12:00									
表計算	10:15～11:30	競技説明	競技 10:15～11:30									
ネイル施術	13:30～16:30					競技説明	競技 13:30～16:30					
写真撮影	9:00～14:00	競技説明	競技 9:00～11:30				休憩 11:30～12:30	競技 12:30～14:00				
パソコン組立	9:30～14:30	競技説明	競技 9:30～11:30				休憩 11:30～12:30	競技 12:30～14:30				
パソコン操作	10:30～12:00	競技説明	競技 10:30～12:00									
パソコンデータ入力	13:30～16:00					競技説明	競技 13:30～16:00					
縫製	10:30～15:30	競技説明	競技 10:30～12:30				休憩 12:30～13:30	競技 13:30～15:30				
木工	9:00～16:00	競技説明	競技 9:00～12:30				休憩 12:30～13:30	競技 13:30～16:00				
物流ワーク(※)	9:30～14:30	事前準備	デモンストレーション 9:30～11:30			休憩 11:30～12:30	デモンストレーション 12:30～14:30					
OA機器等メンテナンス(※)	10:30～15:30	事前準備	デモンストレーション 10:30～12:30			休憩 12:30～13:30	デモンストレーション 13:30～15:30					

## ※技能デモンストレーション競技

※1 競技開始時間の30分前から競技説明が行われる予定です。

※2 上記競技時間には休憩時間を含む場合がございます。

※3 上記競技時間等はいずれも現時点における予定です。

今後の準備状況等により変更があります。

第 42 回全国障害者技能競技大会における新型コロナウイルス  
感染拡大防止のための具体的な措置

令和 4 年 9 月 28 日  
(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構

第 42 回全国障害者技能競技大会（以下「全国アビリン」という。）を開催・実施するに当たって、新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り組むべき具体的な事項等を取りまとめたものである。

なお、当該内容は、現段階で得られている知見等に基づき作成しており、今後の知見の集積及び地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがあり得る。

<用語の説明>

- ・ 全国アビリン…第 42 回全国障害者技能競技大会
- ・ 高障求機構…独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- ・ 選手…全国アビリン参加選手
- ・ 参加者…選手、選手介助者及び選手団引率者等
- ・ 競技委員等…競技委員、専門委員及び補佐員
- ・ ワークフェア…障害者ワークフェア 2022
- ・ 出展者…ワークフェア出展者
- ・ 入場者…参加者、技能デモンストレーション実施者、競技委員等、出展者、イベント出演者、一般来場者、高障求機構事務局及び設営業者等の全国アビリン会場内に入場する全ての者

1 競技委員会等の開催時の対応

(1) できるだけスカイプ、ズーム等の Web 会議、メール等により実施することとし、集合しての会議を実施するに当たっては、以下の事項に留意するよう、周知・徹底することとする。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
  - ア 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - イ 同居家族や身近な知人等に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参し、会場内ではマスクを着用すること。
- ③ 会場に入場する際には、手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 会場内の座席の配置等に当たっては、参加者の距離（1 m 以上）を確保すること。距離を確保できない場合でも、仕切りのない対面での座席配置は避

け、可能な限り対角に配置する、横並びにするなどの工夫をすること。

- ⑤ 競技委員会等が主催する懇親会等の開催は控えること。
- ⑥ 感染防止のために決めたその他の措置を遵守するとともに、高障求機構の指示に従うこと。
- ⑦ 競技委員等が会議終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査等で陽性となった場合又は新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、高障求機構に対して速やかに報告するとともに、関係機関が行う濃厚接触者の調査等に協力すること。

## 2 全国アビリン開催時の感染防止対策

【参考：資料1（注意事項）】

全国アビリンは、混雑を回避するため、IDカード（入場パス）を活用した入場受付を行う。

また、開会式については、選手等が一堂に会する形式を取りやめ、オンライン開催とする。

- (1) 全国アビリンの会場への入場者及び入場可能な会場の範囲については、下表のとおりとする。なお、一般来場者については、会場内の混雑状況等により、入場を制限する場合があるものとする。

入場対象者及び役割	入場者数等	入場可能な会場（入場日）
選手	・高障求機構が参加を決定した選手	幕張メッセの各ホール (11/4～6)
選手介助者	・高障求機構が参加を決定した選手の介助者として、高障求機構が参加を認めた者 ☞原則として、1名の競技選手に対して、1名	同上 (11/4～6)
選手団引率者	・都道府県選手団を引率する都道府県庁の職員等 ☞競技選手が10名未満の場合、1名 ☞競技選手が10名以上の場合、2名を上限 ・上記のほか、都道府県庁からの依頼により、都道府県選手団の引率をサポート(手話通訳者等)する者	同上 (11/4～6)
技能デモンストレーション実施者	・技能デモンストレーションを実施する者として機構が認めた者	同上 (11/3～6)
競技委員、専門委員、補佐員 ・技能競技の運営	・高障求機構が委嘱した競技委員、専門委員及び補佐員	同上 (11/3～6)
上記以外の大会スタッフ等 ・大会全体の運営	・大会スタッフ等(大会事務局、設営業者等)	同上 (11/1～7)
障害者ワークフェア出展者、イベント出演者	・高障求機構が出展を決定した企業・団体等 ☞原則として、1ブースにつき、5名以内 ・上記のほか、ステージイベント出演者等	同上 (11/4～5)

一般来場者	・第 42 回全国障害者技能競技大会の見学のため来場した者	同上 (11/4～6)
マスコミ関係者 ・全国アビリンに係る 周知・広報	・マスコミごとに、取材等における必要最低限の人数	同上 (11/5～6)

## (2) 入場者への対応

入場者に求める感染拡大防止のために遵守すべき措置は、以下のとおり。

なお、これらを遵守できない場合は、他の入場者の安全を確保する等の観点から、会場への入場を認めないこと及び途中退場を求めることがあり得ることを周知することとする。

- ① 参加に当たっては、新型コロナウイルスワクチン（以下「ワクチン」という。）の接種（2回以上）を推奨する。ワクチンの複数回接種が困難な場合については、来場初日から72時間以内に採取した検体に係るPCR検査結果が陰性であることが証明できることを推奨する。ただし、緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が開催県下に適用された場合には、ワクチンの複数回接種又は来場前72時間以内のPCR検査陰性は、必須証明事項とする。
- ② 入場者は、以下の事項に該当する場合は、自主的に来場を見合わせる。
  - ア 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - イ 同居家族や身近な知人等に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触がある場合
- ③ マスクを持参し、会場内ではマスクを着用すること。
- ④ 会場では、手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑤ 会場内では、できるだけ他の入場者等との距離（競技エリアはできるだけ2m以上、その他は1m以上）を確保すること。
- ⑥ 会場内での大きな声での会話、応援等をしないこと。
- ⑦ 会場内では、原則として飲食を行わないこと。
- ⑧ 全国アビリン及びその前後の打合せ等においても、三つの密（密接、密集、密閉）（以下「三つの密」という。）を避けるとともに、マスクを着用するなど十分な感染防止対策を講ずること。
- ⑨ 感染防止のために定められたその他の措置を遵守するとともに、高障求機構の指示に従うこと。
- ⑩ 入場者が全国アビリン終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査等で陽性となった場合又は新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、高障求機構に対して速やかに報告するとともに、関係機関が行う濃厚接触者の調査等に協力すること。

## (3) 入場受付時（準備のための搬入時やオリエンテーション時等を含む。以下同じ。）の対応



【参考：資料 2（受付の流れ）】

高障求機構は、入場受付時に入場者が密になることを防止するとともに、安全に大会を実施するため、会場入口等での受付の際には、以下の事項を行うこととする。

- ① 全ての入場者には、連絡先の登録及び来場日前の 2 週間について体調確認事項に該当する項目が無いことの疎明を行わせること（資料 2 別紙を提出させること）。
- ② 入場者には体温計、サーモグラフィ等を用いて検温を行い、当日 37.5℃を超える発熱がある場合は、入場を制限すること。
- ③ 入場者から当日の体調に異常がある旨の申し出がなされた場合は、入場を制限すること。
- ④ 全ての入場者がマスクを着用していることを確認すること。  
なお、選手については、大会期間中は原則としてマスクを着用することとするが、選手の障害の種類・程度等によりマスクを着用することが困難であると高障求機構が認める場合は、この限りではない（事前に高障求機構あて申し出て、高障求機構が認めた場合に限る。）。
- ⑤ 受付場所には、手指消毒剤を設置し、入場者に消毒させること。
- ⑥ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること（状況によっては、受付を行う大会スタッフがフェイスシールドの装着により対応することを含む。）。
- ⑦ 入場者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ⑧ 緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が開催県下に適用された場合、ワクチン接種済証明又は PCR 検査結果が陰性であることが確認できるもの（原本、紙コピー、スマートフォン等による写し）を提示させ、確認すること。
- ⑨ 全国アビリン終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に関する PCR 検査等で陽性となった場合又は新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、高障求機構に対して速やかに報告するとともに、関係機関が行う濃厚接触者の調査等に協力することを周知すること。

（4）参加者への対応

高障求機構は、都道府県庁に対して、参加者が遵守すべき事項を予め明示して、協力を求めることとする。また、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、全国アビリンへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ること及び宿泊の際は、食事等を除き宿泊施設からの不要不急の夜間外出をしないことを通知することとする。

（5）技能デモンストレーション実施者への対応

高障求機構は、技能デモンストレーション実施者に対して、技能デモンストレーション実施者が遵守すべき事項を予め明示して、協力を求めることとする。また、これを遵守できない場合にあつては、他の参加者等の安全を確保する等の観点から、全国アビリンへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりする

ことがあり得ること及び宿泊の際は、食事等を除き宿泊施設からの不要不急の夜間外出をしないことを通知することとする。

#### (6) 競技委員等への対応

高障求機構は、競技委員等に対して、競技委員等が遵守すべき事項を予め明示して、協力を求めることとする。また、これを遵守できない場合にあっては、他の参加者等の安全を確保する等の観点から、全国アビリンへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ること及び宿泊の際は、食事等を除き宿泊施設からの不要不急の夜間外出をしないことを通知することとする。

#### (7) 競技委員等以外の大会スタッフへの対応

高障求機構は、競技委員等以外の大会スタッフ及び会場設営等の運営の一部を外部に委託する場合には当該委託事業者等に対して、上記(6)に準じた措置を講ずるよう求めることとする。

#### (8) 出展者への対応

高障求機構は、出展者に対して、感染拡大の防止のために遵守すべき事項を予め明示して、協力を求めることとする。また、これを遵守できない出展者には、入場者の安全を確保する等の観点から、ワークフェアへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを通知することとする。

出展者に求める感染拡大防止のために遵守すべき措置は、上記(2)に加え、以下のとおりとする。

- ① ワークフェアへの出展に係るスタッフ人数は、1ブースにつき5名までとすること。
- ② ワークフェア会場内では、他の出展者及び入場者との距離を確保すること(出展ブース内への同時滞在は、スタッフ・入場者を含め常時3名までとすること)。
- ③ 大きな声での勧誘や会話等をしないこと。
- ④ 飲食物(試食・試飲を含む)の提供を伴う出展の場合は、担当者はマスクと手袋に加え、できる限りフェイスシールドを着用し、提供する容器は使い捨ての物を使用の上、ごみはその場で回収し、袋を必ず密閉して廃棄するなど感染防止策を徹底すること。また、試飲・試食前後の手指消毒、食べ歩きの禁止、黙食の実施、会話の際のマスク着用などの呼びかけを行うこと。
- ⑤ ブース内の複数の人が手に触れる物は、消毒液や除菌シート等を用意し、こまめに消毒する、一度入場者が手に触れた飲食物は廃棄するなど、出展者自身で、出展内容に応じた対策を行うこと。

#### (9) 競技会場において高障求機構が準備等すべき事項

【参考：資料3(競技エリアの考え方)】

##### ① 技能競技及び技能デモンストレーション実施エリア

技能競技及び技能デモンストレーション実施エリア(以下「競技等エリア」という。)における感染リスクを下げるため、以下に配慮して準備することと

する。

ア 三つの密を避けるため、原則として競技等エリアの中心と競技等エリアの中心の距離を2 m以上かつ競技等エリアと競技等エリアの距離（作業台などを隔てている場合においては、選手と作業台越しの隣の競技等エリア）を1 m以上空けることとする。選手と選手の間隔を2 m以上確保できない場合には、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽することとする。なお、各競技等会場の広さ、感染防止対策を踏まえ、必要に応じ、対応することとする。

イ 選手と選手以外の者との間隔をできるだけ2 m以上空けることとする。

ウ 競技委員等により、複数の選手が触れる可能性のある競技機材を、選手が入れ替わる際等にこまめに消毒する。

エ 高障求機構は、参加者、競技委員等が全国アビリン開催の間にこまめに手指を消毒できるよう、競技等エリアごとにアルコール等の手指消毒剤を設置することとする。

オ 扉・窓・搬出入シャッターの開放や空調運転により、会場内を十分に換気する。

## ② ワークフェア会場

高障求機構は、ワークフェア会場における感染リスクを下げるため、以下に配慮して準備することとする。

ア 出展ブースと通路の間に設置する遮蔽用ビニールシートを提供する。

イ ブース内の展示物、テーブル、イスなど複数の人が手に触れる物は消毒液や除菌シート等を用意し、こまめに消毒するなど、出展者自身で、出展内容に応じた対策を行うよう要請する。

## ③ 参加者や競技委員等のための更衣室、休憩・待機スペース（招集場所）等 更衣室、休憩・待機スペース等は感染リスクが比較的高いと考えられることから、高障求機構は、以下に配慮して準備することとする。

ア 広さにはゆとりを持たせ、参加者や競技委員等が密になることを避ける。

イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者や競技委員等の数を制限する等の措置を講じる。

ウ 室内又は待機スペース内で複数の参加者、競技委員等が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。

## ④ 飲食物（弁当等）の提供時

飲食物（弁当等）を参加者や競技委員等に提供する際には、高障求機構は、以下に配慮することとする。

ア 参加者や競技委員等が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。

イ 飲料については、ペットボトル、ビン、缶等個別配付できるものを提供する。

ウ 参加者や競技委員等の飲食については、指定場所のみで行うよう指示を

徹底する。

(10) 選手が競技等を行う際の留意点

高障求機構は、参加者及び競技委員等に対し、以下の留意点を周知・徹底することとする。

① 十分な距離の確保

競技種目に関わらず、選手が競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること。作業の身体的負荷が強い競技の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要があること。距離を確保できない場合でも、仕切りのない状態で対面することは避け、可能な限り対角に位置取りする、横並びになるなどの工夫をする必要があること。

（※）感染予防の観点からは、1 m以上の距離を空けることが適当である。

② その他

ア タオルは共用しないこと。

イ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、黙食を実施すること。食べきれなかったもの・飲みきれなかったもの等を指定場所以外に捨てないこと。

(11) 技能デモンストレーション実施者が技能デモンストレーションを実施する際の留意点

高障求機構は、技能デモンストレーション実施者に対し、技能デモンストレーションを実施する際の留意点について、上記（10）に準じて周知・徹底することとする。

3 その他の留意事項

(1) 交通機関の利用及び宿泊における留意事項

高障求機構は、参加者、技能デモンストレーション実施者、競技委員等及び出展者に対し、以下の留意点を周知・徹底することとする。

① 利用する交通機関及び宿泊施設は、適切な新型コロナウイルス感染防止対策を採っているものに限ること。

② 参加者、技能デモンストレーション実施者、競技委員等及び出展者は、利用する各交通機関及び各宿泊施設が策定する「新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従い対応すること。

③ 参加者、技能デモンストレーション実施者、競技委員等及び出展者は、食事等を除き宿泊施設からの不要不急の夜間外出は控えること。

④ 宿泊する際は感染拡大防止のためシングルルーム（またはツインのシングルユース）を利用することが望ましいこと。

(2) 新型コロナウイルス接触確認アプリ等の推奨

高障求機構は、参加者、技能デモンストレーション実施者、競技委員等及び

出展者等に対し、厚生労働省が配信しているスマートフォンアプリ「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)」の使用を推奨することとする。

### (3) 感染発生に備えた準備

高障求機構は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、入場者管理のため収集した氏名・連絡先の情報について、保存期間(1月)を定めて保存しておくこととする。

また、全国アビリン終了後に、入場者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や開催地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合は、対応について、必要に応じて千葉県等の衛生部局と協議することとする。

なお、感染者が確認された場合の公表の有無・方法については、感染者の人權に配慮し、個人名が特定されないことがないように留意しつつ、公衆衛生上の要請も踏まえ、実態に応じて検討することとする。

## 大会参加・競技会場来場に当たっての注意事項

1	会場受付にて「体調確認書」のご提出による連絡先登録並びに体調確認及び検温を実施いただいた方（IDカード（入場パス）所持者）以外は入場できません。（参加者及び関係者については、事前に連絡先登録等を行います。）
2	ワクチンの接種（2回以上）又はワクチンの複数回接種が困難な場合については、来場初日から72時間以内に採取した検体に係るPCR検査結果が陰性であることが証明できることを推奨しています。
3	以下の事項に該当する場合は、入場できません。
(1)	体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
(2)	同居家族や身近な知人等に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
(3)	過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触がある場合
4	マスク（不織布マスク推奨）を持参し、会場内では常にマスクを着用してください。（選手の競技中のマスクの取扱いについては、別途とする。）
5	手洗い、手指消毒を励行してください。
6	会場内では、人と人との距離をできるだけ2m、少なくとも1m確保してください。
7	会場内では密閉空間を避けるため、扉や窓を開ける場合があります。
8	会場内では、大きな声での会話、応援等をしないでください。
9	会場内での飲食は行わないでください（ワークフェア出展者が提供する試食・試飲を除く。また、これらについても、食べ歩き、持ち歩きは行わないこと）。（参加選手及び出展者の飲食は、指定場所で行ってください。）
10	感染防止のために定められたその他の措置を遵守するとともに、主催者の指示に従ってください。
11	厚生労働省が配信しているスマートフォンアプリ「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」の使用を推奨しています。
12	競技大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査等で陽性となった場合又は新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告するとともに、関係機関が行う濃厚接触者の調査等に協力してください。
13	大会参加・来場前後は、移動中や移動先での感染防止のため、感染リスクのある行動の回避などの適切な行動を取ってください。



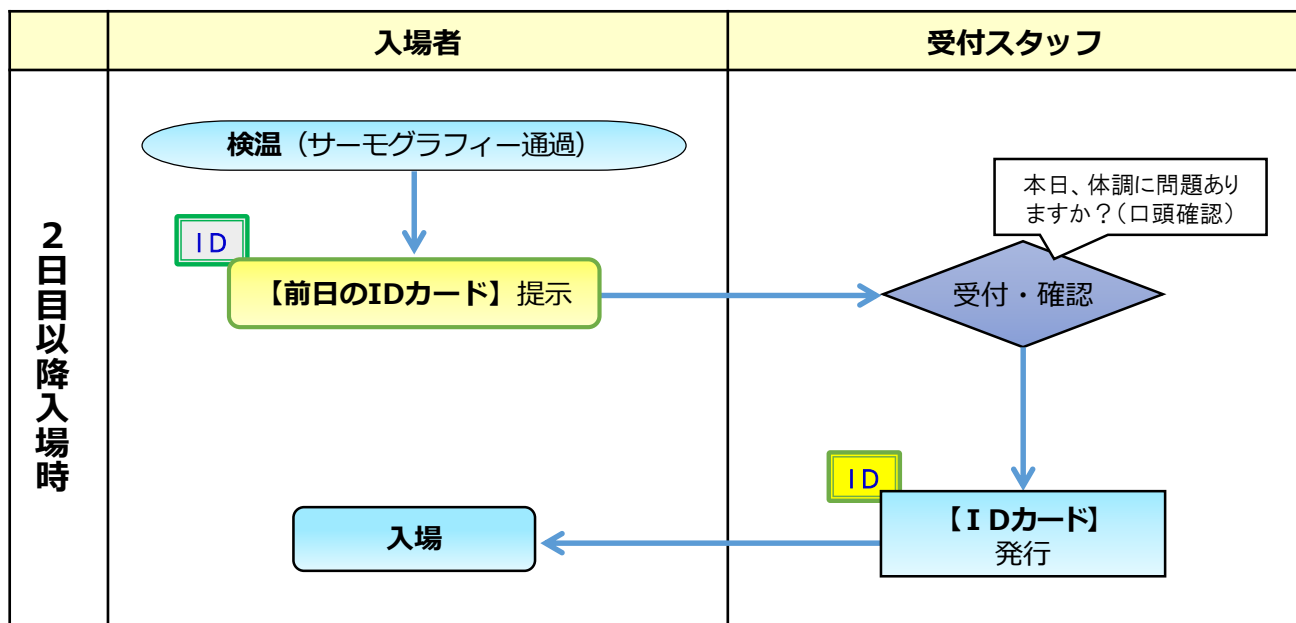
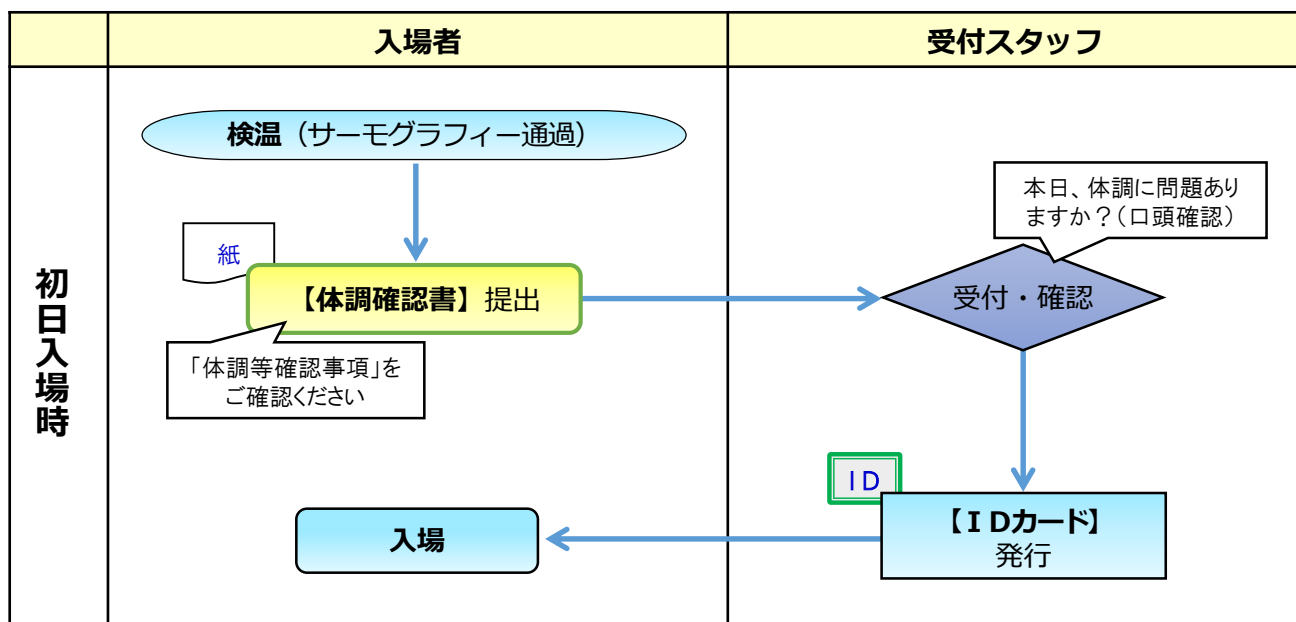
# 来場受付の流れ

## <初日入場時>

- 必要事項を記入した「**体調確認書**」を、会場受付に**提出**（入場初回のみ）
- 受付時の検温と体調に異常がない者は、受付スタッフがIDカード（入場パス）を発行  
 ※IDカード（入場パス）は、当日に限り有効  
 ※同日の再入場は、IDカード（入場パス）を所持していれば可

## <2日目以降入場時>

- 前日のIDカード（入場パス）を、会場受付に**提示**（入場初回のみ）
- 受付時の検温と体調に異常がない者は、受付スタッフがIDカード（入場パス）を発行  
 ※IDカード（入場パス）は、当日に限り有効（各日で異なるIDカード（入場パス）を発行）  
 ※同日の再入場は、IDカード（入場パス）を所持していれば可



## 体調確認書

(事務局使用欄)



第42回全国障害者技能競技大会において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会会場への入場にあたり、健康状態を確認するため、情報の提供をお願いいたします。本紙は、1人につき1枚をご記入の上、大会会場への来場初日に持参し、受付にご提出ください。大会会場では、事務局が発行するIDカード(入場パス)を必ずご着用ください。



## 入場者情報

氏名	
連絡先 (※属性②～⑤は記載省略可)	— —

入場者の属性(該当に○)	
① 一般来場者／報道関係者	② 選手・介助者・引率者(都道府県)
③ ワークフェア出展者	④ デモンストレーション実施者
⑤ 競技委員・大会運営スタッフ等	⑥ 主催者等

## 大会前2週間における健康状態

(※該当する項目にチェック)

本日より前の2週間について、以下の項目をご確認ください。一つでもチェックが付かない場合は、大会会場へのご入場はできません。

体調等確認事項	チェック
① 37.5℃を超える発熱が無い	
② せき、のどの痛みなどの風邪の症状が無い	
③ 普段にはない強いだるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、疲れやすさが無い	
④ 味覚や嗅覚の異常が無い	
⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触が無い	
⑥ 同居家族や身近な知人等に新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる者がいない	
⑦ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触が無い	

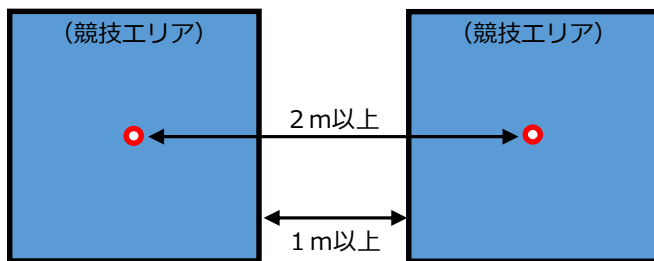
※提出された個人情報の取り扱いには十分配慮し、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。ただし、大会会場にて感染症患者又はその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等に提供する場合があります。

## 競技エリアの考え方

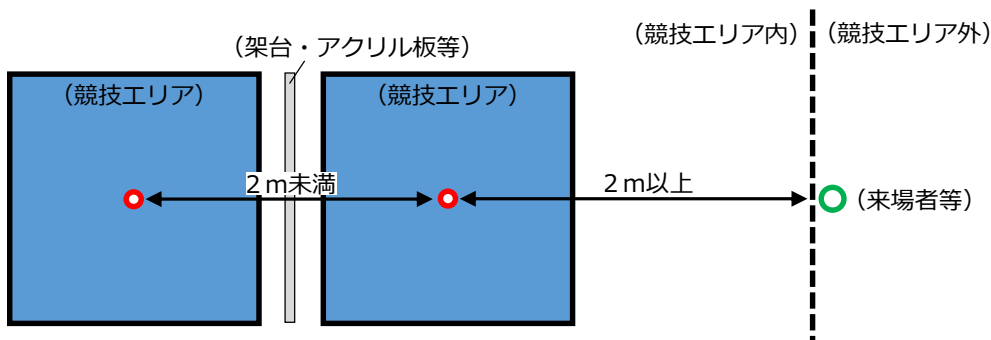
- ① 三つの密を避けるため、原則として競技エリアの中心と競技エリアの中心の距離を2 m以上かつ競技エリアと競技エリア（作業台などを隔てている場合においては、選手と作業台越しの隣の競技エリア）の距離を1 m以上空ける。（例1）
- ② 選手と選手の間隔を2 m以上確保できない場合には、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する。なお、各競技会場等の広さ、感染防止対策を踏まえ、必要に応じ、対応する。（例2）
- ③ 選手と選手以外の者との間隔をできるだけ2 m以上空ける。（例2）
- ④ 競技委員等により、複数の選手が触れる可能性のある競技機材を、選手が入れ替わる際等にこまめに消毒する。
- ⑤ 参加者、競技委員等が全国大会開催の間にこまめに手指を消毒できるよう、職種又は種目ごとの競技エリアにアルコール等の手指消毒剤を設置する。

## （競技エリアの考え方）

（例1）競技エリアの中心と競技エリアの中心の距離を2 m以上かつ競技エリアと競技エリア（作業台などを隔てている場合においては、選手と作業台越しの隣の競技エリア）の距離を1 m以上



（例2）・2 m以上確保できない場合は、アクリル板等で遮蔽  
・選手と選手以外の者との間隔を2 m以上



## 取材者の皆様へ（お願い）

第42回全国障害者技能競技大会（以下「アビリンピック」といいます。）及び障害者ワークフェア2022（以下「ワークフェア」といいます。）を取材いただき誠にありがとうございます。

アビリンピック等の取材にあたっては、下記の各事項にご留意ください。

### 1. 共通事項

- 来場に際しては、「第42回全国障害者技能競技大会における新型コロナウイルス感染拡大防止のための具体的な措置」の各事項を遵守いただき、発熱や体調不良等がある場合は来場を控えていただくようお願いいたします。
- 来場時は、以下の場所で受付を行ってください。なお、入場するためには、展示ホール入口にて検温及び体調確認等の手続きが必要です。
  - ・11月5日(土)：総合インフォメーション（幕張メッセ 国際展示場ホール9 1F）  
受付時間 8:30～17:00
  - ・11月6日(日)：閉会式案内所（幕張メッセ 国際展示場ホール11 1F）  
受付時間 8:30～10:30
- 取材の際は、社の腕章など、報道機関であることが明らかになるものを身につけていただくようお願いいたします。
- アビリンピック・ワークフェアの開催情報等については、総合インフォメーション（11月5日）又は閉会式案内所（11月6日）までお問い合わせください。

### 2. 撮影ルール

- 新型コロナウイルス感染症対策や非常時の避難経路確保等の安全上の観点から、通路に三脚を固定するなどによる撮影はご遠慮ください。
- 各技能競技エリア及び各技能デモンストレーションエリア内にて選手等の撮影を希望される場合は、必ず当該競技等のスタッフに許可を得てから行ってください。また、その際はスタッフの指示に従ってください。
- 競技時間中は、競技エリアに影響を及ぼす場所での照明やフラッシュの使用、競技中の選手に直接声をかける等の行為は禁止です。また、撮影にあたって技能競技等実施中の選手に近付きすぎないようにご注意ください。
- 取材をされるにあたっては、取材対象選手等はもちろん、他の周囲の選手等の競技等の実施に影響を及ぼさないようご注意ください。
- 特定の選手等のみ集中するような撮影は控えていただくようご注意ください。
- 表計算競技（展示ホール9）の撮影に際しては、競技中のパソコンの画面が映り込まないようにご注意ください。
- 障害者ワークフェアの出展者・参加者等を撮影・取材する場合には、取材対象の方の許可を得てから行ってください。
- 会場2階に設置されている、選手団・ワークフェア出展者用昼食会場内への立ち入りは出来ません。当該昼食会場での撮影及び取材はご遠慮ください。

### 3. その他

- 報道関係者専用の駐車場は用意していませんのでご了承ください。

## 受付簿（報道機関用）

第42回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）及び障害者ワークフェア2022の取材に来場された報道機関用の受付簿です。

本受付簿は、「1社1葉」でご記入のうえ、以下の受付にご提出ください。

- ・11月5日（土）：総合インフォメーション（幕張メッセ 国際展示場ホール9 1F）
- ・11月6日（日）：閉会式案内所（幕張メッセ 国際展示場ホール11 1F）

取材・撮影の際は、「取材者の皆様へ（お願い）」記載の各事項の遵守について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### （取材者名簿）

社名	
----	--

来場者氏名	連絡先等※共通の場合は代表者のみで可